

憲法9条 ノーベル賞候補

「憲法九条にノーベル平和賞を」と二人の主婦が始めた活動で、ノルウェーのノーベル賞委員会から、署名を集めた市民実行委員会や推薦人の大学教授らに、二〇一四年のノーベル平和賞候補として正式に受理したとの通知が届いたことがわかった。通知が届いたのは九日夜。今年の候補は二百七十八件で、十月十日に受賞者が発表される。

●関連29面

主婦の願い届いた

この活動は神奈川県座間市の鷹巣直美さん(73)が発案し、昨年一月から署名活動を開始した。市民実行委が昨夏発足、推薦資格のある大学教授らに呼びかけた。今年二月一日の締め切りまでに学者ら四十二人が賛同し、約二万五千人分の署名と共に応募した。

受賞資格は個人または団体のため「憲法九条を保持する日本国民」としてノミネットされている。実行委メンバーは「改憲を目指す安倍政権を、国際的な力で穏便に止められる手段だと共感を得た。多くの人が平和憲法を尊び、危機感を持っていると実感した」と話している。

2014年(平成26年)4月12日(土)

憲法9条 ノーベル賞候補に

戦争放棄を定めた憲法9条をノーベル平和賞に推そうと市民団体がインターネットなどで呼び掛け、趣旨に賛同した大学教授らがノーベル賞委員会(ノルウェー)に推薦状を送ったところ、候補として受理したとの連絡があったことが11

推薦状送付、受理

日、市民団体への取材で分かった。市民団体「憲法9条にノーベル平和賞を」実行委員会(相模原市)によると、ノーベル賞委員会から9日夜に受理を知らせるメールが届いたという。

実行委は神奈川県座間市の主婦がインターネットで呼び掛け、共感が広がって発足。平和賞は個人や団体に贈られるため受賞者は「日本国民」として、推薦締め切りの2月1日までに、推薦資格がある大学教授ら計13人と1団体が同賞委員会に推薦状を送付。実行委員会も約2万4000人の署名を送った。

今年のノーベル平和賞は10月10日に発表される。